

環境水等の放射性セシウムモニタリング コンソーシアム

平成 28 年度事業報告

1. 平成 28 年度の活動方針と事業

本コンソーシアムは、環境水等の放射性セシウムモニタリング技術の普及・発展・技術の向上を図ることで、技術の信頼性を高めるとともに、合理的なモニタリングの実施、さらに国際社会への貢献を目的とする。

平成 28 年度は、環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアムの立ち上げ初年度として、コンソーシアムの基盤を確立するとともに、研究会、技術研修会、精度評価試験、国際的な情報発信活動を行った。

1. 2. 事業

規約にある通り、以下に示す 4 つの事業を実施した。

- 一 国内における環境水等の放射性セシウムモニタリングの研究会開催
- 二 国内における環境水等の放射性セシウムモニタリングの技術研修会開催
- 三 環境水等の放射性セシウムモニタリングの精度評価試験の実施
- 五 国際的な情報発信・連携（IAEA と精度評価試験に関して情報交換）

※規約の事業 四 環境水等の放射性セシウムモニタリングの技術資料の改訂については、平成 29 年度に検討を行う。

2. コンソーシアムの運営体制

会長 : 保高徹生（産業技術総合研究所）

副会長 : 高橋堅（東京パワーテクノロジー）、上東浩（島津テクノリサーチ）

監事 : 菊池美保子（環境分析研究所）

アドバイザー:

恩田裕一（筑波大学）

信濃卓郎（東北農研）

林誠二（国環研）

塚田祥文（福島大学）

青野辰雄（放医研）

内田滋夫（放医研）

運営委員：

保高徹生（産業技術総合研究所）

申文浩（東北農研）

辻英樹（国立環境研究所）

栗原モモ（産業技術総合研究所）

宮津進（農研機構 農工研）

事務局：保高徹生、栗原モモ

3. 活動記録

3. 1. 総会・研究会の開催（P02-補足資料 1、2）

年次通常総会：2016 年 10 月 21 日

第 1 回研究会：2016 年 10 月 21 日（第 1 回研究会プログラム参照）

第 2 回研究会：2017 年 3 月 7 日、8 日（第 2 回研究会プログラム参照）

3. 2. 技術研修会の開催（P02-補足資料 3）

第 1 回技術研修会：2017 年 3 月 7 日（技術研修会プログラム参照）

3. 3. 精度評価試験の実施（P02-補足資料 4）

精度評価試験として、IAEA と連携し、福島県内の環境水およびドナウ川の水を用いて、低濃度の淡水中の放射性セシウムのモニタリングについて国際 PT（国内 16 機関参加）および国内 PT（国内 5 機関が参加）を実施した。

3. 4. 国際対応（P02-補足資料 5）

IAEA RER 7008「淡水中の低濃度放射性セシウム定量に関するデータ評価ワークショップ（RER/7/008- Data Evaluation Workshop on Determination of Low Activity Radio-Cesium in Freshwater）」に参加し、3. 3. に記載の精度評価試験の水の準備方法や日本で採用されている前処理方法について報告を行うとともに、欧州の参加者と前処理の方法について情報共有、議論を行った。参加者（恩田、保高、久保田、申、坂口、栗原）。